第６１回　全国へき地教育研究大会和歌山大会
第２７回　近畿へき地教育研究大会和歌山大会
第６２回　和歌山県へき地複式教育研究大会田辺・西牟婁地方大会

第2次案内

このたび、第61回全国へき地教育研究大会、第27回近畿へき地教育研究大会、第62回和歌山県へき地複式教育研究大会を和歌山県田辺・西牟婁地方において開催することになりました。

本大会は、全国へき地教育研究連盟第7次長期5か年研究推進計画の4年次にあたる研究大会として、和歌山県のへき地教育の実践を公開し、全国各地の先生方と研究や交流を深めることにより、へき地・小規模・複式学級を有する学校の充実と発展を図るものです。

1日目の全体会・分散会は田辺市内で、また、2日目の分科会は田辺市・白浜町（11公開授業会場）で開催いたします。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成24年6月

第61回　全国へき地教育研究大会和歌山大会実行委員会
実行委員長　村上　利博　（白浜町立安居小学校長）

大会スローガン

紀の国わかやま発　子どもたちの未来を拓くひたむきな人間力を育む教育

【開催期日】　平成24年 10月 18日（木）～ 19日（金）

【会　　場】　１日目　全体会：紀南文化会館　〒646-0033 和歌山県田辺市新屋敷町１番地　TEL：0739-25-3033
分散会：紀南文化会館　和歌山県立情報交流センターBig・U
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9　Tel. 0739-26-4111
紀伊田辺シティプラザホテル〒646-0022 和歌山県田辺市東山1丁目5番32
TEL. 0739-24-0400
東急ハーヴェスト南紀田辺　〒646-0011和歌山県田辺市新庄町2901-1
Tel:0739-25-6109

２日目　分科会：田辺市・白浜町１１会場

●第６１回　全国へき地教育研究大会和歌山大会実行委員会事務局●
〒６４５－０４１７　和歌山県田辺市龍神村柳瀬１０８６－１
田辺市立中山路小学校　教頭　寒川　望
TEL 0739-78-0044　FAX 0739-78-8016
E-mail　nakasanj@mb.aikis.or.jp

第61回　全国へき地教育研究大会和歌山大会開催要項

1　開催の趣旨

へき地・小規模・複式学級を有する学校の学級経営・学習指導及び生徒指導上の諸問題について研究協議するとともに、全国各地におけるへき地教育の研究成果を交流し、へき地教育の充実を図る。

2　研究主題

（1）全国へき地教育研究連盟第７次長期５か年研究推進計画　研究主題

『ふるさとでの学びを生かし、新しい時代を築く心豊かな子どもの育成』

～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした
学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

（2）近畿へき地教育研究協議会　研究主題

『近畿の恵まれた郷土を愛し、主体的・創造的にたくましく生きる心豊かな子どもの育成』

（3）和歌山県へき地複式教育研究会　研究主題

『へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かし、地域に根ざした教育実践を深め、
主体的・創造的に生きる子どもの育成』

～ふるさとを愛し、自ら学ぶ心豊かでたくましい子どもの育成をめざして～

3　主　　催

文部科学省　和歌山県教育委員会　全国へき地教育研究連盟
近畿へき地教育研究協議会　和歌山県へき地複式教育研究会
田辺市教育委員会　白浜町教育委員会　すさみ町教育委員会

4　後　　援

近畿各府県教育委員会　和歌山県　田辺市　白浜町　すさみ町
和歌山県市町村教育委員会連絡協議会　和歌山県都市教育長協議会
和歌山県町村教育長会　和歌山県小中学校長会協議会
和歌山県小中学校教頭会　和歌山県 PTA 連合会

5　大会基本日程

<table>
<tr><td></td><td colspan="2">8:50 9:20</td><td>10:10 10:20</td><td colspan="2">12:20</td><td>13:40</td><td colspan="2">15:40</td></tr>
<tr><td>第１日
10月18日
（木）</td><td>受付</td><td>開会式</td><td>休憩</td><td>基調報告
講　　演
次期開催県挨拶</td><td>移動
昼食
休憩</td><td>分散会
（６分散会場）</td><td>各分科会場
周辺宿舎へ
バス移送</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">8:30 8:50</td><td>10:35 10:45</td><td colspan="2">12:20 12:30</td><td>13:20</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>第２日
10月19日
（金）</td><td>受付</td><td>公開授業
Ⅰ・Ⅱ</td><td>休憩
移動</td><td>分科会
開会行事
研究発表
研究協議</td><td>閉会式</td><td>昼食
休憩</td><td colspan="2">最寄りの駅へバス移送</td></tr>
</table>

※２日目は分科会場によって、日程が一部変更になる場合があります。

（中学校の公開授業は、８：５０～１０：４０です）

※１０月１７日（水）に全国へき地教育研究連盟理事会、秋季総会、交流会が開催されます。

6　会　　場

【第１日目】10 月 18 日（木）

◇全体会　紀南文化会館（〒 646-0033　和歌山県田辺市新屋敷町１番地）　TEL 0739-25-3033

（１）開会式　　9:20 ～

（２）基調報告　　10:20 ～　　○全国へき地教育研究連盟研究部長
○和歌山県へき地複式教育研究会研究部長

（３）講演　　10:35 ～

演題「言葉の力を高める言語活動の充実」
～へき地の子どもたちの未来を拓くために、今、必要な教育とは～
講師　横浜国立大学教育人間科学部
附属教育デザインセンター　教授　髙木　展郎　氏

（４）次期開催県挨拶　　三重県

（５）アトラクション
演目　「野中の獅子舞」（県無形文化財）
出演　「田辺市立近野小学校全校児童、近野獅子舞団」

（６）移動、昼食、休憩　12:20 ～

◇課題別分散会　　13:40 ～

分 散 会	第１分散会 紀南文化会館 小ホール	第２分散会 紀南文化会館 研修室	第３分散会 紀伊田辺シティプラザホテル	第４分散会 和歌山県立情報交流センター Big・U 多目的ホール	第５分散会 和歌山県立情報交流センター Big・U 研修室２	第６分散会 東急ハーヴェスト
全国ブロック発表都道府県	東海・北陸 ブロック 富山県	中国・四国 ブロック 島根県	九州 ブロック 沖縄県	北海道 ブロック 北海道	関東・甲信越 ブロック 埼玉県	東北 ブロック 宮城県
近畿ブロック発表	京都府 京都市	滋賀県 大津市	和歌山県 みなべ町	奈良県 下北山村	兵庫県 西脇市	大阪府 高槻市

【第２日目】10 月 19 日（金）分科会（公開授業）会場校

記号	会　場　校　名	記号	会　場　校　名
A	田辺市立龍神小学校（たなべしりつりゅうじん）	G	田辺市立本宮小学校（たなべしりつほんぐう）
B	田辺市立龍神中学校（たなべしりつりゅうじん）	H	田辺市立近野中学校（たなべしりつちかの）
C	田辺市立秋津川小学校（たなべしりつあきづがわ）	I	田辺市立富里小学校（たなべしりつとみさと）
D	田辺市立長野小学校（たなべしりつながの）	J	白浜町立椿小学校（しらはまちょうりつつばき）
E	田辺市立三里小学校（たなべしりつみさと）	K	白浜町立三舞中学校（しらはまちょうりつみまい）
F	田辺市立本宮中学校（たなべしりつほんぐう）		

課題別分散会

分散会	領域	全国第７次研究推進計画研究課題	全国ブロック		
			学校名	校長・発表者	研究主題等
1	学校・学級経営の深化・充実	－課題１－ 家庭や地域と共に確かな学びを創る特色ある教育計画の創造と推進を図る	富山県 〒939－1977 富山県南砺市西赤尾町253番地 南砺市立上平小学校 kamitaira-es@tym.ed.jp	校長　潟沼栄一 発表者　棚田賢也 TEL　0763－67－3301 FAX　0763－67－3304	『自分の思いを分かりやすく伝え合う児童を目指して』 ～少人数や地域のよさを生かした指導の在り方～ 学級数　単式　２学級 複式　２学級 児童数　５２名
2		－課題２－ ふるさとを生かし、新しい時代を築く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る	島根県 〒684-0211 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷1379 西ノ島町立西ノ島小学校 nishisyo@tx.miracle.ne.jp	校長　澤　純子 発表者　真野　理佳 TEL　08514-6-0404 FAX　08514-6-1810	『伝え合い、高め合う子どもの育成』 ～西ノ島の「ひと・もの・こと」の出会いを通して～ ・総合的な学習の時間を中心とした地域との交流活動の取組 ・対話力の育成とお互いの考えを伝え合い、高め合う取組 学級数　単式　６学級 特別支援１学級 児童数　１０１名
3		－課題３－ 地域に根ざし、家庭や地域と共に豊かな心をはぐくむ教育活動の創造と推進を図る	沖縄県 〒905-1203 沖縄県国頭郡東村川田837 東村立東小中学校 east-ej@ryukyu.ne.jp	校長　山城祐市 発表者　知花淳次 TEL　0980-43-2117 FAX　0980-43-2163	『主体的に生きる児童・生徒の育成』 ～地域・郷土に学ぶ体験学習等を通して～ 学級数 小学校　単式　６学級 特別支援　１学級 中学校　単式　３学級 児童数　小学校　６２名 中学校　３６名

分散会	領域	全国第７次研究推進計画研究課題	全国ブロック		
			学校名	校長・発表者	研究主題等
4	学習指導の深化・充実	－課題４－ 児童生徒の分かる喜びや個性を重視した指導計画の改善・充実を図る	北海道 〒071-1410 北海道上川郡東川町西10号北24番地 東川町立東川第一小学校 dai1@eolas-net.ne.jp	校長　澤田　安男 発表者　後藤　直宏 TEL　0166-82-2751 FAX　0166-82-5143	『進んで学び，考えを深める子どもの育成』 ～小規模校における個に応じた算数科指導を通して～ 学級数　単式　２学級 複式　２学級 特別支援１学級 児童数　３１名
5		－課題５－ 学習意欲や個に応じたきめ細かな指導を重視した指導方法の改善・充実を図る	埼玉県 〒３６９－１９０１ 埼玉県秩父市大滝1999番地 秩父市立大滝小学校 oes@chichibu-stm.ed.jp	校長　髙野　豊子 発表者　髙野　豊子 TEL　0494-55-0665 FAX　0494-55-0937	『主体的に学び、確かな学力を身につける児童の育成』 ～算数科における個に応じた指導の充実と、工夫・改善をめざして～ ○主体的な学びを育む指導法の工夫 ○個々の能力の適正・分析に基づく、きめ細やかな指導の充実 ○確かな学力の定着を図るための指導法の改善と充実 （家庭との連携・協力のあり方も視野に入れて） 学級数　複式　２学級 児童数　１２名
6		－課題６－ 課題意識をもって自ら学び、共に高め合う学習過程の改善・充実を図る	宮城県 〒986－1311 宮城県石巻市雄勝町大須字舘森１ 石巻市立大須中学校 jhsoshu@city.ishinomaki.lg.jp	校長　岩佐　勝 発表者　平塚　真一郎 TEL　0225-58-2245 FAX　0225-58-2254	『ふるさとを愛し、復興に向かってたくましく生きる生徒の育成』 ～自ら学ぶ意欲をはぐくむ学習指導の工夫を通して～ 学級数　単式　３学級 生徒数　１４名

課題別分散会

分散会	領域	全国第７次研究推進計画研究課題	近畿ブロック		
			学校名	校長・発表者	研究主題等
1	学校・学級経営の深化・充実	－課題１－ 家庭や地域と共に確かな学びを創る特色ある教育計画の創造と推進を図る	京都府 〒 601-1104 京都府京都市左京区花脊大布施町 747 番地 京都市立花背小中学校 hanase-sc@edu.city.kyoto.jp	校長　浪江　隆二 発表者　板垣　嘉郎 TEL　075-746-0131 FAX　075-746-0272	『「確かな学力，豊かな心，健やかな体」を身に付け，次代を生き抜く子どもの育成』 ～一体型施設による地域ぐるみの小中一貫教育を通して～ 学級数 小中学校　単式　８学級 児童生徒数　２８名
2		－課題２－ ふるさとを生かし、新しい時代を築く、開かれた学校・学級経営の創造と推進を図る	滋賀県 〒 520-0476 滋賀県大津市葛川中村町 108 番地の 1 大津市立葛川小・中学校 ktr-e@otsu.ed.jp	校長　辰巳　晴生 発表者　太田　義典 石田　奈緒子 TEL　077-599-2154 FAX　077-599-2306	『子どもが楽しく学び合うための小中学校の連携のあり方』 ～児童生徒の連続的な学びと基礎学力の定着をはかるために～ 学級数 小学校　複式　１学級 単式　４学級 中学校　単式　３学級 児童生徒数　小学校１５名 中学校　９名
3		－課題３－ 地域に根ざし、家庭や地域と共に豊かな心をはぐくむ教育活動の創造と推進を図る	和歌山県 〒 645-0201 和歌山県日高郡みなべ町清川 2202 みなべ町立清川中学校 kykw-jh@minabe-kyo.jp	校長　宇和　孝仁 発表者　下田　誠 TEL　0739-76-2135 FAX　0739-76-2167	『体験活動を主とした、人間力を高める教育の創造』 ～平和学習を中心として～ 学級数　単式　３学級 生徒数　２４名

分散会	領域	全国第７次研究推進計画研究課題	近畿ブロック		
			学校名	校長・発表者	研究主題等
4	学習指導の深化・充実	－課題４－ 児童生徒の分かる喜びや個性を重視した指導計画の改善・充実を図る	奈良県 〒 639-3803 奈良県吉野郡下北山村寺垣内 1002 下北山村立下北山小学校 Shimokitayama-es@vill.shimokitayama.nara.jp	校長　松田　洋一 発表者　西岡　千種 TEL　07468-6-0304 FAX　07468-6-0805	『コミュニケーション能力の育成』 ～ことばで、話し合いで、つながりあおう～ 学級数　単式　６学級 特別支援　１学級 児童数　４３名
5		－課題５－ 学習意欲や個に応じたきめ細かな指導を重視した指導方法の改善・充実を図る	兵庫県 〒 677-0031 兵庫県西脇市住吉町 1-1-3 西脇市立双葉小学校 futaba-es@school.city.nishiwaki.hyogo.jp	校長　東　智之 発表者　遠藤　直子 TEL　0795-22-8106 FAX　0795-22-8106	『話し合い、認め合い、響き合う　双葉っ子』 ～言語活動から「対話力」を育てる～ 学級数　複式　３学級 特別支援　１学級 児童数　３２名
6		－課題６－ 課題意識をもって自ら学び、共に高め合う学習過程の改善・充実を図る	大阪府 〒 569-1002 大阪府高槻市大字田能小字岡崎６ 高槻市立樫田小学校 kashidas@city.takatsuki.osaka.jp	校長　今泉　弘 発表者　五十里　斎 TEL　072-688-9237 Fax　072-688-9150	『少人数を活かした授業づくり』 ～問題解決学習の手法を取り入れて～ 学級数　複式　１学級 大阪府へき地小規模校加配により　６学級 児童数　４７名

分科会（公開授業会場）

学校名 ・校長名 ・所在地 ・電話番号 ・級地、学級数	児童生徒数	公開授業		研究主題 ～サブテーマ～ ○数字　関連課題
		１　校　時	２　校　時	
田辺市立龍神小学校（たなべしりつりゅうじん） **A** ・畑中　健 ・田辺市龍神村湯ノ又 68 ・0739-79-0255 ・２級地、複式３	２０	１・２年【国語】 ３・４年【国語】 ５・６年【国語】 (説明文を中心にして)	全校 【生活科・総合的な学習の時間】 (「ぼくとわたしの龍人学」)	『考え、思いを伝える子どもの育成』 ～どの子も参加できる授業作り （国語科を通して）～ ④
田辺市立龍神中学校（たなべしりつりゅうじん） **B** ・後　伸夫 ・田辺市龍神村安井 1048-1 ・0739-78-0014 ・１級地、単式４	１０１	１年　【道徳】 ２年　【道徳】 ３年１組【道徳】 ３年２組【道徳】	全校 【学級活動】 （宿泊体験成果発表会）	『道徳の時間を核として、教育活動全体を通じて行う豊かな心の育成』 ～「人」・「自然」・「命」とつながる豊かな心づくり～　①③
田辺市立秋津川小学校（たなべしりつあきづがわ） **C** ・寒川 貴子 ・田辺市秋津川６８３番地 ・0739-36-0351 ・無級地、複式２　単式２	２８	１年　【国語】 ２年　【算数】 ３・４年【国語】 ５・６年【算数】	全校 【生活】 【総合的な学習の時間】 【音楽】	『自ら求め、共に学び合う子の育成』 ～学びの基礎・基本の定着を図る授業の取り組み～　⑥

研　究　内　容	学　校　・　地　域　の　紹　介
○授業の中で、考える場や思いを伝える場を設定し、自ら学習していく方法を身につけることや話し合い活動の中で自分の思いを伝えることに視点をあて、「考え、思いを伝える子どもの育成」に迫る。 ○どの子も参加できる授業作りをめざして ・子どもが主体的に活動する授業の工夫 ・つけたい力を明確にした授業の工夫 ・学習のねらいにあった効果的な学び方や表現のしかたの提示と活用の工夫 ・学年に応じた発表の工夫	○本校は和歌山県田辺市の最北部、龍神村にある学校で、紀伊山脈の中央部に位置する。護摩壇山や隣接する県下最高峰として 認められた龍神岳付近を源流とする日高川沿いにある学校で、美しく清らかな山や川に囲まれ、自然に恵まれた学校でもある。 ○校区には、高野龍神国定公園もあり、林道沿いには原生林が残されており、古木、初夏の新緑、秋の紅葉、滝など人々の目を楽しませてくれる。また、春から秋にかけては、アメノウオ・アユなどの渓流釣りが楽しめる。 ○昭和２２年には、３３８名いた児童数が４０年に１９７名、６０年に６３名となり、本年度の２０名までに減少した。１・２年（８名）３・４年（６名）５・６　年（６名）の複式３学級編成である。校区が広く、９名の児童がスクールバスで登校している。
○全教職員が、道徳教育を教育活動全体を通じて行う意識を高め、各教科、総合的な学習の時間、特別活動において道徳的ねらいを明確にして指導にあたることを目指した。 ○本校は、「人」や「自然」にかかわる体験活動や「命」の大切さを考える平和学習に積極的に取り組んできた。他者や社会、自然や環境との関わりの中で、生徒は、思いやりの心や規範意識、自然や文化を尊重する心、生命の大切さ、感謝の気持ち等を学び、道徳性を育んでいる。 ○全教職員の道徳教育への意識を高めること、体験活動を全教職員の共通認識のもとで充実させていくことは、「道徳の時間」の指導の質的向上と、教育活動全体で取り組む道徳教育の充実につながっていくと考える。そして、そのことが、生徒の豊かな心の育成につながっていくと考え、本研究主題を設定した。	○平成１９年度、旧龍神村（人口約３９００人，所帯約１７００戸）の龍神・下山路・虎東の三つの中学校が統合され、現在の龍神中学校が発足した。 ○田辺市の北部の日高川上流部が本校の校区であり、ほとんど平野はなく河岸段丘や渓流沿いに点在する集落から成り立っている。 ○校区には、公共施設や商店の多い地域の中心部の他、日本三美人湯の１つとして有名な龍神温泉の観光地や渓谷沿いの山深い地域もある。校区の面積は２５５ｋ㎡と広大で、田辺市の約四分の一を占めている。 ○遠距離を通学する生徒が多く、３路線の通学用スクールバスを運行し、半数以上の生徒がこのバスを利用している。
児童が自ら求め、学びあう授業 ○学びの基礎基本の定着 ○児童が学習過程を把握した授業 ①児童一人ひとりが単元全体の流れを把握した授業 ②児童一人ひとりが１時間の学習過程を把握した授業 ③書くことを大切にした授業 ④複式授業の特性を考慮した授業	○明治９年に開校され、創立１３６周年を迎える。 ○田辺平野の北部に位置し、標高 175m の山間地である。高尾山の北側の山間を流れる二つの川に沿って民家が点在している。面積 25.15 ㎢、人口 750 名、世帯数 313 世帯（平成 24 年 3 月末調べ）である。人口の減少が進み、高齢者の占める割合が毎年大きくなっており、児童数も減少している。 ○地域の多くの家庭は米・梅・みかん・野菜などの田畑を持っているが、専業農家は少なく地域外で勤める人が多い。 ○平成４年に中村地区の山林を開墾し 33ha の梅畑が完成した。平成 9 年には紀州備長炭記念公園が開園し、同年に秋津川振興会も組織され地域活性化に取り組んでいる。 ○龍神方面への道路整備、田辺市までの高速道路の延長により交通量が増えたが、周りには自然がたくさんあり、鳥の鳴き声が響きわたる静かな風情が残っている。

分科会（公開授業会場）

学校名 ・校長名 ・所在地 ・電話番号 ・級地、学級数	児童生徒数	公開授業		研究主題 ～サブテーマ～ ○数字　関連課題
		1校時	2校時	
田辺市立長野（たなべしりつながの）小学校 D ・柳原　修 ・田辺市長野６４１番地 ・0739- 34-0034 ・無級地、複式３	１９	１・２年【国語】 ３・４年【国語】 ５・６年【国語】	全校 【国語】 群読	『伝え合うことで自らの学びを深める子どもの育成』 ～確かな読みを培う国語の授業を目指して～ ⑥
田辺市立三里（たなべしりつみさと）小学校 E ・楠　　渉 ・田辺市本宮町伏拝９６６ ・0735-43-0004 ・１級地、単式２　複式２ 特別支援１	４４	１年　【国語】 ２・３年【国語】 ４・５年 【総合的な学習の時間】 ６年 【総合的な学習の時間】	全校 １～３年【生活・総合的な学習の時間】 ４～６年【国語】 発表	『自らすすんで学習に取り組む児童の育成』 ～体験活動を活かした取り組みを通して～ ③
田辺市立本宮（たなべしりつほんぐう）中学校 F ・濵中　真哉 ・田辺市本宮町本宮 730 ・0735-42-0273 ・１級地、単式３ 特別支援１	７８	２年　【国語】 ３年　【家庭】	１年　【数学】 ３年　【家庭】	『広がる世界　伸びゆく個性 確かな学力　豊かな心』 ～ ひとつのふるさと　ひとつの学校 より豊かな教育環境をめざして ～ ②

研　究　内　容	学　校　・　地　域　の　紹　介
○国語科の「読むこと」の領域に焦点を絞り、確かな読みを培うための中心発問を工夫し、ＰＩＳＡ型読解力の向上をねらう。 ○①発問の工夫、②ワークシートの開発、③「用語・方法・原理原則」の指導(直接指導の充実)、④音読(朗読)の充実を研究の中心として、国語科における複式の授業を展開する。 ○読解指導と音読(朗読)指導を双方向で捉え，授業ばかりでなく朝の活動にも全校朗読(群読)を設定するなど特色を持たせた確かな読みへとつなげる。	○本校は、明治７年より当地方の文化の拠点として校訓「誠実」を柱とした教育活動が，営々と続けられており百三十年余の歴史を刻んでいる。 現在３学級、児童数１９名、教職員数１０名である。 ○田辺市街より約１２km北東に位置し、本校の東側を流れる会津川には多くのホタルが生息し、地域全体が「ホタルの里」と呼ばれ、毎年ホタル祭りが行われている。 また、長野は「古城梅（ごじろうめ)」発祥の地であり、地域の地場産業として、広大な梅畑による梅の栽培が盛んに行われている。
～地域の教育力をいかした教育活動の充実～ ○心豊かにたくましく生きる児童を育成するため、教科や道徳、特別活動との関連を明確にした教育活動や体験活動を、体験だけに終わらせない取り組みの研究を進めている。 ○教科指導の中で、さまざまな活動を通して子どもたちが自主的・主体的に解決できる力を育成する。 ○音無しの里地域コミュニティ（学校支援組織）事業との関連を図りながら、地域の自然や環境、文化、歴史等を学ぶ「ふるさと学習」を通して、学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実を目指す。	○本校は田辺市中心部より約 60 ｋｍ行った山間に位置する。 ○世界遺産登録された「熊野古道」中辺路ルートに当たり、熊野本宮大社からも近い。 ○校区の人口は約 1400 人で世帯数は約 650 戸。 ○昨年度より複式授業を本格的にスタートさせ、研究主題に位置付け取り組んでいる。 ○地域の特色を活かし、地域の協力による体験活動を多く取り入れたふるさと学習に力を入れている。（古道学習・米作り・間伐体験・木工教室・川学習・昔の遊び・・） ○平成 22 年度に県の補助金事業を活用し、保護者・近隣中学校・地域住民の協力を得て運動場の芝生化を実施した。
～ 統合・開校に向けた取組を通して ～ ○統合に向けての交流学習（交流行事・交流授業）を通して、開校という新たに広がる世界の中で、勉学や部活動に励み、仲間を大切にし、それぞれの個性を精いっぱい輝かせることができる生徒を育成する。 ○新たな学校を築いていく中で、生徒会活動を中心にして生徒たち自身で学校の決まりをつくっていく取組を進め、主体的により良い学校を築いていこうとする生徒を育成する。 ○統合前の両校の良き伝統を継承し、さらに新たな取組を積極的に取り入れ発展させるとともに、共育コミュニティ事業を中心にふるさととのつながりを一層強めることにより、より豊かな教育環境を構築し、生徒たちの確かな学力と豊かな心を育成する。	○本校は、平成 24 年４月１日に旧本宮中学校と三里中学校が統合し、新「本宮中学校」として新しく開校したばかりである。まさに、ひとつのふるさとにひとつの中学校となり、素直で真面目で人懐こい生徒たちが、毎日、授業や部活動に熱心に励んでいる。 ○地元産の檜による美しい学舎は、熊野本宮大社のすぐ近くの高台に位置し、世界遺産の町並みを一望できる。昨年９月、紀伊半島を襲った台風 12 号により当地域は大変な被害を受けたが、人々が支え合い助け合う中で、ようやく日常の生活を送ることができるようになった。辛く大変な日々が続き、その爪痕はまだあちらこちらに残っているが、災害を通してふるさと本宮の強さとたくましさと、そして優しさを改めて感じることができた。 ○本校は、旧本宮中学校が取り組んできた「共育コミュニティ」の事業を継承し、保護者・地域と一体となった学校づくりに努めている。図書ボランティアの活動をはじめ、地域の方々は学校に対して大変協力的で、様々な面で学校を支えてくれている。

分科会（公開授業会場）

学校名 ・校長名 ・所在地 ・電話番号 ・級地、学級数	児童生徒数	公開授業		研究主題 ～サブテーマ～ ○数字　関連課題
		1校時	2校時	
田辺市立本宮小学校（たなべしりつほんぐう） G ・弓場　博視 ・田辺市本宮町耳打４９９ ・0735-42-0028 ・１級地、　単式６ 特別支援１	７３	２年　【国語】 ４年　【総合】 ６年　【家庭科】	全校　クラブ 【４～６年】 放課後支援 【読み聞かせ１～３年】	『地域の人々と共に学び、豊かな表現のできる子の育成』 ～国語科・生活科・総合的な学習の時間を中心として～ ①
田辺市立近野中学校（たなべしりつちかの） H ・大江　則人 ・田辺市中辺路町近露24-10 ・0739-65-0004 ・２級地、単式３	１４	１年　【社会】 ２年　【国語】	３年 【総合的な学習の時間】	『保護者・地域と共にふるさとを愛し、心豊かでたくましく生きる生徒の育成』 ①
田辺市立富里小学校（たなべしりつとみさと） I ・森田　春樹 ・田辺市下川下８２６番地の１ ・0739-63-0173 ・１級地、複式３	２８	１・２年　【国語】 ３・４年　【国語】 ５・６年　【国語】	全校 【生活】 【総合的な学習の時間】	『一人ひとりが進んで表現し、ともに学び合う授業の創造』 ⑥

研　究　内　容	学　校　・　地　域　の　紹　介
○自己表現力や基礎学力の向上を目指し、しっかりとした伝えきる力を備えた「自分の思いを豊かに表現する」ことをテーマに、各教科に於いて取り組んできた。 ○学んだ力を活用し、発展させるために、学校支援組織を有効に生かし、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを目指す。	○本校は、奈良県南部県境に接する山岳地帯にあって、熊野川やその支流沿いに点在する小集落から成り、熊野本宮大社や湯峯・川湯・渡瀬温泉などを有する古い歴史の町である。平成 16 年には、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録される。 ○学校は、平成 18 年　児童減少に伴い本宮・請川・四村川の三つの小学校が統合して開校した。三校の統合により、校区はさらに拡大し、全児童がバス通学をしている。
○研究仮説 【仮説１】 ふるさとについて学び、保護者や地域の方々との交流を深めることによってふるさとを愛する生徒を育成できる。 【仮説２】 地域や学校での体験を通じて、生きる力を身に付けて心豊かな生徒を育成できる。 【仮説３】 生徒の自主的な活動を通じて、心身共にたくましい生徒を育成できる。 ○研究内容 ・望ましい人間関係を構築できる力を定着させるため、米作りや地域あいさつ運動の取り組みを充実させる。 ・お互いを認める活動を多く取り入れることにより、成就感・達成感を持たせ様々な場面で積極性を引き出す。 ・授業を通してまじめに取り組む姿勢を育てることにより学力向上に努める。	○近野（近露・野中）地区は田辺市街から北東におよそ４０kmの山間部に位置し、周りを紀伊半島の中央部を走る山地に囲まれる小さな盆地と谷間に民家が点在している。地域住民は文化的な活動に関心が高く、数多くの文化人や知識人を輩出している。また、学校教育には大変協力的であり、地域で子どもたちを育てていこうという思いが強い地域である。また、日本の三大歴史の道として「熊野古道」が平成１６年７月に世界遺産に登録が実現され、全国的に知られる地域となっている。 ○学校創立は昭和２２年である。生徒数は昭和３５年度１２６人を１００とした場合、それ以降は減少し続け、平成２２年度は１０人の７．９％で落ち込んでいる。ただ、Ｉターンなどの事情により他都府県からの転入生があり、今年度は在籍生徒が１４名になり３学級編成である。
○「国語科」（説明的文章）、「ふるさと学習」を切り込み口に、豊かな自然に恵まれた環境を生かし、地域に根ざした学習や体験活動を通して郷土を知る取り組みを大切にしながら、「一人ひとりが自分の考えを持って表現できる子」の研究を続けている。 ○言語活動の目的や意図を明確にし、言語能力を活用する活動を重視することで、児童の思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ○教師や友達の言葉を注意深く聞き、意見を比べて相違点や共通点を見つける判断力、そこから自分の意見を創造する思考力の育成を目指す。聞く・話す観点を明確にさせる。 ○機会を捉えて書く活動を大切にする。自分の考えの形成や互いの考えの交流に生かす力の育成を目指す。表記等もふまえ、相手意識を持たせながら観点を明確にさせる。 ○ひとり学びの仕方を学ばせることでより良い複式授業を創造していく。学習リーダーを中心とした学習スタイルを定着させていく。	○昭和５７年４月、下川小学校・平瀬小学校・上野小学校３校統合により、現在地に新校舎建築、「大塔村立富里小学校」として開設され、平成１７年５月１日の市町村合併により「田辺市立富里小学校」となった。昭和５８年第１回卒業生１６名を送り出して以来、平成２３年度末をもって１７１名の卒業生を送り出してきた。 ○校歌に「清く流れる日置川の岸のさつきも美しく」と歌われているように、学校は豊かな自然に囲まれた静かな場所にあり、学習をするには相応しい環境である。また、教育施設も充実しており、教育環境としても恵まれている。 ○地域住民は本校の教育に対してとても協力的で、地域唯一の学校として学校行事等への参加者も多く、常に物心両面で協力、援助をしてくれる。

分科会（公開授業会場）

学校名 ・校長名 ・所在地 ・電話番号 ・級地、学級数	児童 生徒数	公開授業		研究主題 ～サブテーマ～ ○数字　関連課題
		1　校　時	2　校　時	
しらはまちょうりつつばき 白浜町立椿小学校 J ・山本　　昇 ・西牟婁郡白浜町椿３１６ ・0739-46-0352 ・無級地、複式３	２２	１・２年　【国語】 ３・４年　【国語】 ５・６年　【国語】	全校 【生活科】 【総合的な学習の時間】 発表	『文章を読み取り、自分の思いを表現できる子どもの育成』 ～書く活動を通して～　⑤⑥
しらはまちょうりつみまい 白浜町立三舞中学校 K ・米田　秀彦 ・西牟婁郡白浜町安居６３５番地 ・0739-53-0020 ・１級地、単式３	１７	１年　【社会】 ２年　【英語】 ３年　【数学】	全校 【総合的な学習の時間】 「モーニングスピーチ」 「生徒会活動」	『豊かな心、たくましく生きる力を身につけ、自己の生き方を考える生徒の育成』 ～生徒の主体性が育つ活動を通して～　③

研　究　内　容	学　校　・　地　域　の　紹　介
○学習課題が分かりやすいように工夫して提示し、児童自らが課題解決の意識を持ち、進んで書く活動に取り組むようにさせる。 ○書く活動を間接指導の学習時に工夫して取り入れることで、児童の思考が途切れず、間接指導の学習から直接指導の学習にスムーズにつなげることができるようにさせる。 ○書いたことを元にお互いの考えを交流し合って読みを深める工夫をすること、また、自分の考えを明確にすることで考えを深めさせる。	○椿は、往古より霊泉椿湯として知られ、その泉質の優秀さから湯治場として発展してきた。近年は白浜温泉の近くの保養温泉地として知られている。 ○椿地区は、５つの地区からなり、23 年度末の人口は 698 人、世帯数は 374 戸である。 温泉旅館、ホテル、民宿業、老人施設を擁し眼前に広がる太平洋沖には黒潮が流れ、豊かな漁場を有し、漁業が盛んである。また、山間を流れる朝来帰川沿いに農地も若干あり、野菜や花卉類が栽培されている。 ○本校は三方を山に囲まれた自然豊かな清閑な地にある。春には桜が見事に咲き乱れるなど季節ごとに目を楽しませてくれている。また、近くにはＪＲ椿駅があるが、民家は少なく学校前の道路は、朝夕の登下校時、自転車で椿駅に向かう中高生を見かけるだけで、交通量も少ない。 ○児童は素直で人なつこく、与えられた仕事や課題に誠実に取り組むことができる。また、22 名と少人数であるため休み時間や休日には学年の枠を超えて遊んでいる。
○研究仮説 【仮説１】 総合的な学習の時間や地域に根ざした学校行事において、郷土の学習を工夫し、続けることにより、地域の良さを知り、郷土の自然や産業、伝統文化を守り、自己と地域の関わりや生き方を考える生徒が育つであろう。 【仮説２】 小中連携行事、文化祭、生徒会活動などにおいて、異年齢集団や自治的な活動の支援の仕方を工夫することにより、中学生にリーダーとしての自覚が芽生え、主体的に考え判断して活動する生徒が育つであろう。 【仮説３】 モーニングスピーチや全校集会、教科学習の場において、自分の思いを表現する機会を工夫して設定することにより、自分の考えや思いを意欲的に伝え合うことができる生徒が育つであろう。	○本校区は観光の町白浜町の南部に位置し、鮎の渓流釣りで有名な清流日置川の中流域に沿う約２０㎞の地域と数本の支流に沿う地域とからなっている。かつては県下有数の木材産地として栄えた。現在は豊かな自然を生かしたほんまもん体験型の観光や民泊等に力を入れている。 ○校区は４小学校区であったが、平成２０年度より学区変更や統合が進み現在は安居小学校・市鹿野小学校の２校となっている。また、平成１９年度には川添中学校との統合も行なわれたが生徒数の減少は続いている。 ○平成１８年度より小中連携学力向上推進協議会を組織して児童生徒の学力向上を願い、合同研修や出前授業、行事の交流等を継続して行っている。昨年度は、研究授業の事前研修を合同で実施するなどの工夫を凝らした取り組みを行っている。

●参加申し込み要領

2次案内は文字情報が多く、地図などの案内情報はあまりありません。そこで会場へのアクセスや地図、宿泊施設等の位置など詳細な情報を、2次案内や申込みの様式ファイルとともに、“全国へき地教育研究連盟のホームページ（URL http://www.zenhekiren.net/）”に掲載します。必要な方は、そちらからファイルをダウンロードしてご活用ください。

1. 申し込み方法 **（県外・県内参加者共通）**

申し込み書類は2種類あります。(様式1と様式2) 両書面を記入し、申し込み下さい。
申し込み開始日は6月18日(月) です。後泊もご希望があれば併せてお申し込みください。

（様式1）大会参加・宿泊・交流会・専用バス・弁当申込書

≪申し込みの流れ①≫

大会参加者（様式1） ⇒ **株式会社日本旅行 TiS 和歌山支店**　　**締切日 7月20日(金)**

大会参加、分散会、分科会、専用バス、お弁当のお申し込みを申込書（様式1）にご記入の上、直接株式会社日本旅行 TiS 和歌山支店へお申込みください。

この（様式1）については、Web 上からもお申込みいただけます。（次頁の※1の枠内参照）ただし、県内参加者に関しては、申込書（様式1）の写しを各地方へき地複式教育研究会事務局長あてに提出してください。（Web 上から申し込まれた方は、入力最後の確認画面をプリントアウトして提出してください。）

（様式2）参加とりまとめ用紙

≪申し込みの流れ②≫

①大会参加者（様式2） ⇒ **②市町村教育委員会** ⇒ **③教育事務所**

【締切日】　　**7月13日(金)**　　**7月20日(金)**

⇒ **④都道府県教育委員会** ⇒ **株式会社日本旅行 TiS 和歌山支店**

【締切日】　　**7月27日(金)**　　**8月3日(金)**

①大会参加者は学校ごとに参加とりまとめ用紙にご記入の上、各市町村教育委員会へお申込みください。

②各市町村教育委員会は、参加とりまとめ用紙（様式2）を作成し、各教育事務所へお申し込みください。

（③各教育事務所は、参加とりまとめ用紙（様式2）を作成し、各都道府県教育委員会へお申し込みください。）

④各都道府県教育委員会は、参加とりまとめ用紙（様式2）を次頁掲載の申し込み先、株式会社日本旅行 TiS 和歌山支店まで郵送または FAX にてお申し込みください。

※1　Web 上からのお申込み(Apollon システム）について

(1)Web 受付システム“Apollon（アポロン)”のトップページ（URL：https://apollon.nta.co.jp/zenkokuhekichi/）からアクセスし、お申込みをお願いいたします。24 時間いつでも大会参加に必要なお申込みが可能です。

(2)Apollon システムご利用にてお申込みの場合は、Web 上からいつでも申込み内容とお支払方法の確認及び、変更・取消ができます。

(3)お支払方法は、①Web 上より銀行振り込み、または②オンラインクレジット決済のどちらかをお選びください。

2. 申込受付以降の流れに

①申込書確認後、5 日以内に申込書欄右上の受付番号・申込受付日を記入し FAX にて返信をいたします。申込後、6 日経過し FAX にて返信がない場合、恐れ入りますが弊社までご連絡をお願いいたします。

②予約確認書・請求書等の発送は、9 月 15 日（土）を予定しております。

③お支払方法は、銀行振り込みのみとなります。請求書が到着しましたら、請求書記載の銀行口座へ 9 月 28 日（金）までにお振込みください。その際の振込み手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。

④Web 上からお申込みの方は、上記※1 の記載内容をご確認ください。

3. 申し込み内容の変更・追加・取消（県外・県内参加者共通）

申し込み内容の変更及び取消に関しては、申し込み送付していただいた書面に訂正事項と内容をご記入いただき、再 FAX をお願いいたします。

4. 申し込み先及びお問い合わせ

〒640-8331　和歌山県和歌山市美園町5丁目61番地

株式会社日本旅行 TiS 和歌山支店内

『第61回全国へき地教育研究大会　和歌山大会デスク』

担当　：　横出　利之／平井　陽子

電話：073-436-1388／FAX：073-425-1578／e-mail：toshiyuki_yokode@nta.co.jp

5. 個人情報の取り扱いに関して

お申込みの際の個人情報につきましては今大会に係る目的以外には使用いたしません。

●宿泊施設のご案内

大会前日及び当日の宿泊先として、宿泊施設をご用意しております。（次頁の表をご確認ください。）　ご希望の方は下記内容をご確認いただき、お申込み下さい。

1. 宿泊施設申し込みにあたっての注意事項

(1)宿泊代金はすべて『サービス料及び税金込み』の1名様の料金です。

(2)申し込みにあたっては、様式1の『参加申込書』に記載の申込番号をご記入ください。

(3)今大会開催の田辺市をはじめとする和歌山県の紀南地区は、ほとんどが和室を中心とした旅館タイプの宿泊施設となります。そのため、都市型ビジネスホテルのような部屋利用のご希望には添いかねる場合がございます。

1名1室ご利用いただく場合、宿泊料金がどうしても高額になってしまう旨、また、同室者のご希望がない場合は、他の参加者との相部屋とさせていただく旨を予めご了承ください。

(4)宿泊施設のご案内は原則先着順とさせていただきますが、各宿泊施設のお部屋数には限りがありますので、必ず第1希望・第2希望をご記入ください。

ご不便をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2. 宿泊施設について

10月17日（水）・18日（木）にご宿泊いただける施設の一覧です。17日（水）の交流会に参加される方は、別途参加費用の6,000円が必要となります。その場合は、1泊朝食付をご選択ください。

宿泊施設情報は、“全国へき地教育研究連盟のホームページ（URL：http://www.zenhekiren.net/）”に記載していますので、そちらをダウンロードしてご活用ください。

●宿泊施設一覧（10 月 17 日・18 日）

地区	宿泊施設名	部屋タイプ		申込番号	宿泊料金（1 泊朝食）	申込番号	宿泊料金（1 泊 2 食）
田辺地区	田辺シティプラザホテル	洋室	1 名利用	1-S1	8,500 円	1-S2	13,500 円
			2 名利用	1-T1	8,000 円	1-T2	13,000 円
	東急ハーヴェストホテル南紀田辺	洋室	1 名利用	2-S1	9,500 円	2-S2	13,500 円
			2 名～3 名利用	2-T1	9,000 円	2-T2	13,000 円
白浜地区 白浜温泉	コガノイベイホテル	洋室	2 名～3 名利用	3-1	9,000 円	3-2	13,000 円
	梅樽温泉 ホテルシーモア	洋室又は和室	2 名～4 名利用	4-1	9,500 円	4-2	13,500 円
	紀州白浜温泉 むさし	和室	2 名～4 名利用	5-1	9,500 円	5-2	12,000 円
	民宿 A コース	和室	2 名～4 名利用	6-1	6,500 円	6-2	9,500 円
	ホテル古賀の井	和室	2 名～4 名利用	7-1	7,500 円	7-2	11,500 円
椿地区 椿温泉	奥白浜椿温泉 しらさぎ	和室	2～4 名利用	設定なし ※2		8-2	13,500 円
	国民宿舎 ひらみ	和室	2～4 名利用			9-2	9,000 円
本宮地区 川湯温泉	山水館 川湯みどりや	和室	2 名～4 名利用			10-2	13,500 円
		洋室	1 名利用			11-S2	14,000 円
			2 名利用			11-T2	13,500 円
	川湯まつや	洋室又は和室	1 名利用			12-S2	9,000 円
			2 名利用			12-T2	8,000 円
龍神地区 龍神温泉	龍神　季楽里	和室	2 名～4 名利用			13-2	13,500 円
	下御殿	和室	2 名～4 名利用			14-2	20,000 円
	美人亭	洋室又は和室	2 名～4 名利用			15-2	10,500 円
	民宿　日高川	和室	2 名～4 名利用			16-2	8,000 円
	丸井旅館	和室	2 名～4 名利用			17-2	10,000 円

※2　“設定なし”となっている宿泊施設は、周辺に食事施設が少ないため１泊２食付のみとなっております。

●大会参加費・交流会・分散会・分科会について

1. 大会参加費

お一人様 4,000 円となります。

2. 交流会

大会参加者の懇親の機会として、夕食を兼ねた交流会を設定いたします。意見交換と懇親を通して全国にネットワークを広げる機会にしていただきたく思います。多数のご参加をお待ちしております。

日　時　：　平成 24 年 10 月 17 日（水）18：00～20：00
会　場　：　紀伊田辺シティプラザホテル　5 階『鳳凰の間』
会　費　：　6,000 円

お申込みご希望の方は、様式 1 の『参加申込書』の『交流会』の欄に「○」印、金額欄に「6,000 円」とご記入ください。

3. 分散会のご案内

全体会（10 月 18 日）終了後、午後に分散会を予定しております。お申し込みは本冊子の 3 頁～6 頁の課題内容をご参照のうえ、様式 1 の『参加申込書』希望欄に①～⑥の中からご希望の番号を記入ください。必ず第 2 希望もご記入お願いします。

不参加の場合は、分散会別に「×」をご記入ください。申し込み先着順に受け付けさせていただきますが、会場の受け入れ人数に限りがありますので、第 2 希望をご案内させていただくこともございます。予めご了承ください。

《分散会会場の行動行程一覧》

申込番号	分散会	研究課題	会場名
①	課題 1	家庭や地域と共に確かな学びを創る 特色ある教育計画の創造と推進を図る	紀南文化会館　小ホール
	行程	各自移動 紀南文化会館　・・・・・・　紀南文化会館　小ホール　（昼食及び分散会） 12:20　13:40～15:40	
②	課題 2	ふるさとを生かし、新しい時代を築く、 開かれた学校・学校経営の創造と推進を図る	紀南文化会館　研修室
	行程	各自移動 紀南文化会館　・・・・・・　紀南文化会館　研修室　（昼食及び分散会） 12:20　13:40～15:40	
③	課題 3	地域に根ざし、家庭や地域と共に 豊かな心をはぐくむ教育活動の創造と推進を図る	紀伊田辺シティプラザホテル
	行程	バス移動 紀南文化会館　======　紀伊田辺シティプラザホテル　（昼食及び分散会） 12:20　12:40着／13:40～15:40	
④	課題 4	児童生徒の分かる喜びや個性を重視した 指導計画の改善・充実を図る	和歌山県情報交流センター Big・U　多目的ホール
	行程	バス移動 紀南文化会館　======　和歌山県情報交流センター　Big・U　（昼食及び分散会） 12:20　12:50着／13:40～15:40	
⑤	課題 5	学習意欲や個に応じたきめ細やかな指導を重視した 指導方法の改善・充実を図る	和歌山県情報交流センター Big・U　研修室
	行程	バス移動 紀南文化会館　======　和歌山県情報交流センター　Big・U　（昼食及び分散会） 12:20　12:50着／13:40～15:40	
⑥	課題 6	課題意識をもって自ら学び、 ともに高め合う学習過程の改善・充実を図る	東急ハーヴェストホテル南紀田辺
	行程	バス移動 紀南文化会館　======　東急ハーヴェストホテル南紀田辺　（昼食及び分散会） 12:20　12:50着／13:40～15:40	

4. 分科会のご案内

10月19日（金）の午前中に分科会を予定しております。お申し込みはP.7～P.14の『公開授業会場および分科会会場』の『研究主題』の欄をご参照いただき、様式1の『参加申込書』の分科会『申込記号』欄にアルファベットAからKをご記入ください。申し込み先着順に受け付けさせていただきますが、会場の受け入れ人数に限りがありますので、第2希望をご案内させていただくこともございます。予めご了承ください。

《公開授業及び分科会一覧》

申込記号	公開授業会場・分科会会場	宿泊エリア	宿泊予定施設
A	田辺市立龍神小学校	龍神温泉	龍神　季楽里・美人亭
B	田辺市立龍神中学校		民宿　日高川・丸井旅館
C	田辺市立秋津川小学校	田辺市内	紀伊田辺シティプラザホテル
D	田辺市立長野小学校		東急ハーヴェストホテル南紀田辺
E	田辺市立三里小学校	本宮	山水館　川湯みどりや 川湯まつや
F	田辺市立本宮中学校		
G	田辺市立本宮小学校		
H	田辺市立近野中学校	白浜温泉 田辺市内 椿温泉	東急ハーヴェストホテル南紀田辺・民宿Aコース
I	田辺市立富里小学校		コガノイベイホテル・ホテル古賀の井
J	白浜町立椿小学校		奥白浜椿温泉　しらさぎ・国民宿舎　ひらみ
K	白浜町立三舞中学校		梅樽温泉　ホテルシーモア・紀州白浜温泉　むさし

分科会をご指定いただく際、分科会前泊及び大会専用バスの申し込みも併せてお願いいたします。

様式1の『参加申込書』の『前泊』欄に希望宿泊記号を、また『大会専用バス』欄に○をご記入ください。不要の場合は空欄にせず、×をご記入ください。

分科会及び宿泊・輸送バスの詳細内容はP.23～P.25をご参照ください。

注 1) 申し込み先着順に受け付けさせていただきますが、各施設の部屋数は限りがあります。満室の場合は他の宿泊施設にご案内させていただきます。予めご了承ください。

注 2) 各宿泊施設は和室中心の旅館タイプとなるため、相部屋利用が基本となります。ただし、一部の地区では1名1室利用できる宿泊施設もございますので、次頁以降をご参照ください。

注 3) 輸送バスに関しては、分科会の費用格差を少なくするために一律料金とさせていただいております。なお、一部の特定区間では宿泊施設の送迎車を利用する場合もございます。予めご了承ください。

●申し込み内容の変更・取消について

お申し込みの内容について、変更及び取消を必要とする場合は、下記の手順でお願いいたします。

(1) Web 上からお申込み（Apollon システム利用）をされた方

Apollpn システムご利用の上、ご自身で変更及び取消の手続きを行ってください。

(2) FAX にてお申し込みをされた方

申し込み送付していただいた書面に訂正事項と内容をご記入いただき、再 FAX をお願いいたします。

お電話での変更・取消は事故防止のため、受付いたしかねます。ご理解とご協力をお願いいたします。

また、変更及び取消にあたっては、旅行業法に基づいて下記の通り取消料金を徴収させていただきます。既にお支払いいただいた代金につきましては、大会終了後に取消料を差し引いて返金させていただきます。

《取消料金について》

旅行契約の解除日		取消料（おひとり）
大会開催の前日から起算しさかのぼって	21日目にあたる日以前	無料
	20日目にあたる日以降8日目にあたる日	旅行代金の20%
	7日目にあたる日以降3日目にあたる日	旅行代金の30%
	大会前々日及び大会前日	旅行代金の40%
	大会当日	旅行代金の50%
	無連絡不参加及び大会開始後	旅行代金の100%

注 1) 大会参加費・宿泊費・専用バス・弁当共通の内容です。

注 2) 大会参加費等は大会事務局からの依頼に基づき、株式会社日本旅行 TiS 和歌山支店が事務手続きを代行させていただきます。

注 3) 詳細を記した『ご旅行条件書』は別途お渡しさせていただきます。

●分科会会場への行動行程及び料金等のご案内

会場校(A)	田辺市立龍神小学校	〒645-0524	田辺市龍神村湯ノ又68	TEL:0739-79-0255
会場校(B)	田辺市立龍神中学校	〒645-0416	田辺市龍神村安井1048-1	TEL:0739-78-0014
日程	10月18日(木)	分散会会場 (6分散会場) ====== 龍神温泉 15:40 17:00		
	10月19日(金)	各宿泊施設 ====== 分科会会場(公開授業・研究発表・昼食) 8:00発 8:30～13:20 分科会会場 ====== JR紀伊田辺駅 ====== 南紀白浜空港 13:30 15:00着 15:20着		
申込記号	宿泊施設名	1泊2食料金	基本部屋／定員	備考
別紙参照	龍神 季楽里	別紙参照	和室利用 2名～4名	
	下御殿			
	美人亭			
	民宿 日高川			
	丸井旅館			
料金	■宿泊代金はお一人様あたりの料金となります(税金・サービス料込) ■10月18日、19日の昼食弁当:両日各1,000円(税込・お茶付) ■大会専用バス:4,000円			

会場校(C)	田辺市立秋津川小学校	〒646-0102	田辺市秋津川683	TEL:0739-36-0351
会場校(D)	田辺市立長野小学校	〒646-0213	田辺市長野641	TEL:0739-34-0034
日程	10月18日(木)	分散会場 (6分散会場) ====== 田辺市内・白浜町 15:40 16:10		
	10月19日(金)	各宿泊施設 ====== 分科会会場(公開授業・研究発表・昼食) 8:00発 8:30～13:20 分科会会場 ====== JR紀伊田辺駅 ====== 南紀白浜空港 13:30発 14:00着 14:20着		
申込記号	宿泊施設名	1泊2食料金	基本部屋／定員	備考
別紙参照	田辺シティプラザホテル	別紙参照	洋室利用 1名～2名	※1泊朝食の対応も可能です
	東急ハーヴェストホテル南紀田辺		洋室利用 1名～3名	
	コガノイベイホテル		洋室利用／2名～3名	
	紀州白浜温泉 むさし		和室利用 2名～4名	
	民宿 Aコース		和室利用 2名～4名	
	梅樽温泉 ホテルシーモア		洋室・和室利用／2名～4名	
	ホテル古賀の井		和室利用 2名～4名	
料金	■宿泊代金はお一人様あたりの料金となります(税金・サービス料込) ■10月18日、19日の昼食弁当:両日各1,000円(税込・お茶付) ■大会専用バス:4,000円			

【注意事項】

大会１日目（10 月 18 日）は、各分散会場にてお弁当をお召し上がりいただきます。会場近くには食事施設が少なく、また時間も限られておりますので、お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

大会 2 日目はほとんどの会場校の周辺には食事施設やコンビニはありません。お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

会場校(E)	田辺市立三里小学校	〒647-1743	田辺市本宮町伏拝966	TEL:0735-43-0004
会場校(F)	田辺市立本宮中学校	〒647-1731	田辺市本宮町本宮730	TEL:0735-42-0273
会場校(G)	田辺市立本宮小学校	〒647-1704	田辺市本宮町耳打499	TEL:0735-42-0028
日程	10月18日(木)	分散会場 (6分散会場) ====== 本宮 15:40 17:30		
	10月19日(金)	各宿泊施設 ====== 分科会会場(公開授業・研究発表・昼食) 8:00発 8:30～13:20 分科会会場 ====== JR紀伊田辺駅 ====== 南紀白浜空港 13:30 15:20着 15:40着		
申込記号	宿泊施設名	1泊2食料金	基本部屋／定員	備考
別紙参照	山水館 川湯みどりや	別紙参照	和室・洋室利用 2名～4名	
	川湯まつや		洋室利用 1名～2名	
料金	■宿泊代金はお一人様あたりの料金となります(税金・サービス料込) ■10月18日、19日の昼食弁当:両日各1,000円(税込・お茶付) ■大会専用バス:4,000円			

会場校(H)	田辺市立近野中学校	〒646-1402	田辺市中辺路町近露24-10	TEL:0739-65-0004
会場校(I)	田辺市立富里小学校	〒646-1213	田辺市下川下826-1	TEL:0739-63-0173
日程	10月18日(木)	分散会場 (6分散会場) ====== 田辺市内・白浜町 15:40 16:10		
	10月19日(金)	各宿泊施設 ====== 分科会会場(公開授業・研究発表・昼食) 7:10発 8:30～13:20 分科会会場 ====== JR紀伊田辺駅 ====== 南紀白浜空港 13:30 14:40着 15:00着		
申込記号	宿泊施設名	1泊2食料金	基本部屋／定員	備考
別紙参照	田辺シティプラザホテル	別紙参照	洋室利用 1名～2名	※1泊朝食の対応も可能です
	東急ハーヴェストホテル南紀田辺		洋室利用 1名～3名	
	紀州白浜温泉 むさし		和室利用 2名～4名	
	民宿 Aコース		和室利用 2名～4名	
	コガノイベイホテル		洋室利用 2名～3名	
料金	■宿泊代金はお一人様あたりの料金となります(税金・サービス料込) ■10月18日、19日の昼食弁当:両日各1,000円(税込・お茶付) ■大会専用バス:4,000円			

【注意事項】

大会 1 日目 (10 月 18 日) は、各分散会場にてお弁当をお召し上がりいただきます。会場近くには食事施設が少なく、また時間も限られておりますので、お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

大会 2 日目はほとんどの会場校の周辺には食事施設やコンビニはありません。お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

<table>
<tr><td>会場校(J)</td><td>白浜町立椿小学校</td><td>〒649-2326</td><td>西牟婁郡白浜町椿316</td><td>TEL:0739-46-0352</td></tr>
<tr><td>会場校(K)</td><td>白浜町立三舞中学校</td><td>〒649-2532</td><td>西牟婁郡白浜町安居635</td><td>TEL:0739-53-0020</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日程</td><td>10月18日(木)</td><td colspan="3">分散会場 (6分散会場) ====== 白浜町・椿温泉
15:40 16:10</td></tr>
<tr><td>10月19日(金)</td><td colspan="3">各宿泊施設 ====== 分科会会場(公開授業・研究発表・昼食)
8:00発 8:30～13:20

分科会会場 ====== JR紀伊田辺駅 ====== 南紀白浜空港
13:30発 14:00着 14:20着</td></tr>
<tr><td>申込記号</td><td>宿泊施設名</td><td>1泊2食料金</td><td>基本部屋／定員</td><td>備考</td></tr>
<tr><td rowspan="8">別紙参照</td><td>奥白浜椿温泉 しらさぎ</td><td rowspan="8">別紙参照</td><td>和室利用 2名～4名</td><td></td></tr>
<tr><td>国民宿舎 ひらみ</td><td>和室利用 2名～4名</td><td></td></tr>
<tr><td>コガノイベイホテル</td><td>洋室利用／2名～3名</td><td rowspan="6">※1泊朝食の対応も可能です</td></tr>
<tr><td>紀州白浜温泉 むさし</td><td>和室利用 2名～4名</td></tr>
<tr><td>梅樽温泉 ホテルシーモア</td><td>洋室・和室利用／2名～4名</td></tr>
<tr><td>民宿 Aコース</td><td>和室利用 2名～4名</td></tr>
<tr><td>ホテル古賀乃井</td><td>和室利用 2名～4名</td></tr>
<tr><td>料金</td><td colspan="4">■宿泊代金はお一人様あたりの料金となります(税金・サービス料込)
■10月18日、19日の昼食弁当:両日各1,000円(税込・お茶付) ■大会専用バス:4,000円</td></tr>
</table>

【注意事項】

大会 1 日目（10 月 18 日）は、各分散会場にてお弁当をお召し上がりいただきます。会場近くには食事施設が少なく、また時間も限られておりますので、お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

大会 2 日目はほとんどの会場校の周辺には食事施設やコンビニはありません。お弁当の事前申し込みをお勧めいたします。

第61回全国へき地教育研究大会和歌山大会　大会参加・宿泊・交流会・専用バス・弁当　申込書

様式1（複写可）

□私は旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関・保険会社等への個人情報提供について同意の上、下記旅行に申し込みます。

都道府県		所属先（学校名）		職名		ふりがな	
						氏名	
所属先　〒				男女		生年月日	
所属（勤務）先						TEL	
住　　所						FAX	
大会での役割						email	

（申込日）　　月　　日

（変更／取消日）　　月　　日

受付番号	申込受付日	変更受付日

※枠内は弊社で利用しますので、記載しないでください。

※1　案内書面は所属（勤務）先に送付いたしますが、送付先住所が異なる場合はその住所をご記入下さい。

※2　宿泊施設で同室希望者がおられる場合は、下記の表の”その他”の項目に希望者の所属先と氏名を記入下さい。

項目	参加	宿泊（大会前日）10月17日（水）	交流会	分散会	昼食（弁当）	大会専用バス		分科会	宿泊（分科会前日）	昼食（弁当）	備考
				申込番号	10月18日（木）	10／18（木）～19（金）		申込番号	10月18日（木）	10月19日（金）	
記入例	○	第1希望（申込番号） 1-S1 第2希望（申込番号） 2-S1	○	第1希望 ② 第2希望 ⑤	○	○	マイカー ×	第1希望 D 第2希望 H	第1希望（申込番号と金額） 1-S2　¥13,500 第2希望（申込番号と金額） 2-S2　¥14,500	○	
	¥4,000	第1希望料金　¥9,500	¥6,000		¥1,000	¥4,000				¥1,000	
記入欄		第1希望（申込番号） 円 第2希望（申込番号） 円		第1希望 第2希望			マイカー	第1希望 第2希望	第1希望（申込番号と金額） 第2希望（申込番号と金額） 第1希望（申込番号と金額） 第2希望（申込番号と金額）		
	¥4,000		¥6,000		¥1,000	¥4,000				¥1,000	
その他											

お客様振込口座名（旅行代金返金時に使用いたします）				
銀行名		銀行		
		金庫		支店
		組合		本店
	普通・当座		口座番号	
フリガナ				
口座名義				

《費用振込先》
銀行名　：みずほコーポレート銀行
支店名　：十五号支店
口座番号：普通預金口座 3106687
口座名義：株式会社日本旅行

【申込書送付先・問い合わせ先】
〒640-8331　和歌山県和歌山市美園町5丁目61番地
株式会社日本旅行　TiS和歌山支店内
『第61回全国へき地教育研究大会和歌山大会デスク』
TEL：073-436-1388　FAX：073-436-1578
e-mail:toshiyuki_yokode@nta.co.jp
営業時間：平日 10:00～18:00（土日祝は休業）
担当者　：横出利之　／　平井陽子

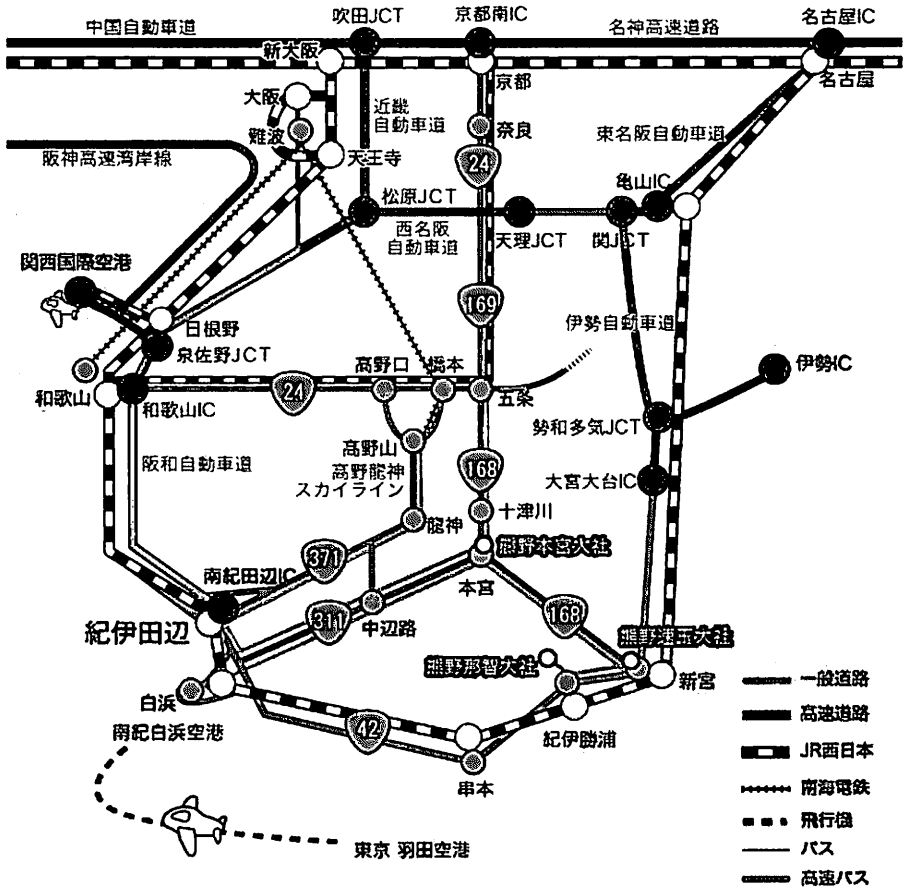
様式2 （複写可能）
市長村教育委員会用・教育事務所用・都道府県教育委員会用

第61回　全国へき地教育研究大会和歌山大会
第27回　近畿へき地教育研究大会和歌山大会
第62回　和歌山県へき地複式教育研究大会西牟婁地方大会

参加とりまとめ用紙

NO	氏名	職名	所属名	分散会		分科会	
				第1希望	第2希望	第1希望	第2希望
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

●アクセスのご案内



◇田辺市ホームページより抜粋◇

(1)JR 利用の場合

JR 新大阪駅より特急利用で JR 紀伊田辺駅まで約 2 時間。JR 紀伊田辺駅から紀南文化会館まで徒歩約 10 分です。

(2)乗用車ご利用の場合

阪和自動車道利用、松原 IC から終点の南紀田辺 IC まで約 140km。紀南文化会館まで約 10 分です。

(3)航空機ご利用の場合

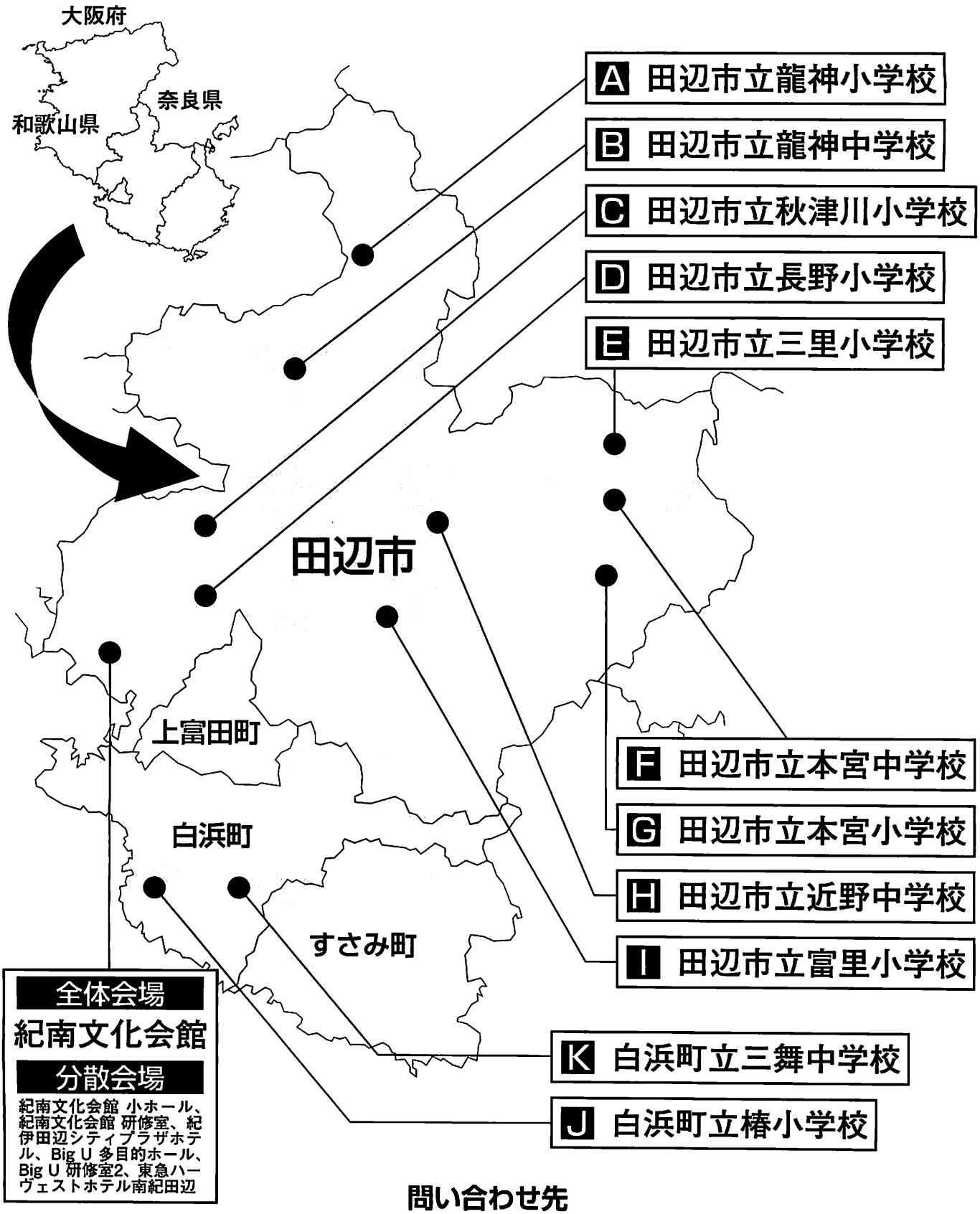
羽田空港から南紀白浜空港まで 1 日 2 便運航しています。

空港から紀伊田辺駅まではリムジンバス利用で約 40 分です。

(4)高速バスご利用の場合（明光バス・近鉄バス・西日本 JR バス）

JR 京都駅より約 3 時間 30 分、JR 大阪駅より約 3 時間、JR 難波より約 2 時間 50 分。

会場校案内図



問い合わせ先

第61回　全国へき地教育研究大会和歌山大会実行委員会事務局

〒645-0417　和歌山県田辺市龍神村柳瀬1086-1
田辺市立中山路小学校　教頭　寒川　望
TEL0739-78-0044　FAX0739-78-8016
E-mail:nakasanj@mb.aikis.or.jp